

| Title | 懐徳堂研究 第1号 編集後記 |
|--------------|------------------------------------|
| Author(s) | |
| Citation | 懐徳堂研究. 2010, 1, p. 178-179 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/24670 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

であった。在する貴重資料を集約し展示しようというのが主な目的在する貴重資料を集約し展示しようというのが主な目的設として「懐徳堂センター」を開設した。文学部内に散平成十一年(一九九九)、大阪大学文学部は、附属施

そうした取材や調査に対応してきたのが、このセンター 出納に関して協力を要請されることしばしばであった。 が注目を集め、 制作された懐徳堂学舎のCGや貴重資料のデータベース ジタルコンテンツを展示解説し、 である なった。また、大阪大学附属図書館からも、資料の調査 た、大阪大学の創立七十周年記念事業 て活動するという性格を色濃くしていくことになる。 なかったことから、このセンターは事実上、 しかし、展示のための適切なスペースが部内に得られ 学内外からの取材を受ける機会が多く 懐徳堂研究の拠点とし (二〇〇一年) 懐徳堂のデ ま

その目的を、センター規定はこう明記する。「懐徳堂徳堂研究センター」が発足した。○○九)五月、「懐徳堂センター」が改組され、新たに「懐こうしたセンターの実態を踏まえ、平成二十一年(二

果たし、これを通じて本研究科の発展に寄与することを懐徳堂に関わる調査・研究・広報の拠点としての役割を研究センターは、文学研究科の教育研究理念に沿って、

こととした。その目的を達成するために、以下のような業務を行う

目的とする」と。

- (デジタルコンテンツを含む)(1) 懐徳堂に関わる調査・研究、資料の収集・作成
- (3) 懐徳堂研究の総合サイト「WEB懐徳堂 (http:// ズレター(不定期)等の広報媒体の編集・刊行(2) 『懐徳堂研究』(年一回定期)、パンフレット、ニュー
- (4)学内外における懐徳堂資料の展示、講演会kaitokudo.jp/)」の管理運営
- (4) 学内外における懐徳堂資料の展示、講演会など
- 関わる懐徳堂関係資料の調査等の協力(6) 本学附属図書館および総合学術博物館の業務に(5) 懐徳堂記念会の事業に関わる資料調査等の協力

ており、論考はいずれも学術的に高い価値を持つものでセンター報』は、センターの活動報告と論考で構成されいを新たに創刊することになったものである。『懐徳堂が刊行してきた『懐徳堂センター報』を継承しつつ、装このうち、(2)の『懐徳堂研究』は、旧来のセンターこのうち、(2)の『懐徳堂研究』は、旧来のセンター

懐徳堂の研究を専門に取り扱う学術雑誌として創刊され『懐徳堂研究』は「研究」を全面に押しだし、全国で唯一、雑誌ではないのかという印象をも与えてきた。そこで、あったが、「センター報」という名称が、広報誌や内部

たのである。

(懐徳堂研究センター長 文学研究科教授 湯浅邦弘)導のもとにその使命を果たしていきたい。論考を揃えることができた。第2号以降も、各位のご教論が、創刊号は多くの研究者のご支持により、貴重な